



藤倉英幸《離島の夏の日》はり絵 2010年 当館蔵

北海道のふるさと。残されていた優しい風景。  
そこに暮らす人々に目を向けた「きり絵」たち。



藤倉英幸《山桜の頃》切り絵 1986年 当館蔵

80年代きり絵作品集①

## 春から夏の藤倉英幸展 離島浪漫

礼文水道を夏の旅人を乗せたフェリーが行き交う。  
小さな島、天売・焼尻は野性と変化に満ちた表情を見せてくれた。  
短い夏の日々を知っているのは、咲き競うエゾカンゾウの花たち。

藤倉英幸

2024 4/27<sup>(土)</sup>~6/30<sup>(日)</sup>

開館時間/9:00~17:00(最終入場16:30)

休館日/月曜休館(ただし休日の場合は翌日休)

ニセコ・有島記念館 特別展示室

常設展観覧料のみで鑑賞可

観覧料/一般500円、高校生100円

※中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料

主催/有島記念館(ニセコ町教育委員会)

ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 TEL.0136-44-3245



## 春から夏の藤倉英幸展 離島浪漫

北海道は島なのです。ですから、まわりは全て海に囲まれています…しかし、よく見ると、そのまわりには、ぽつんぽつん

とした何やら島かげが。そうです、それは離島一利尻、礼文、天売、焼尻、奥尻一です。藤倉英幸（1948～）は、離島ゆえの他では見られない植物や動物たちが息づくこれらの島々にも取材を重ね、それを作品として発表してきました。

今回の展覧会では、これらの離島を描いた作品のほか、80年代初頭に藤倉が描いていた「切り絵」作品を紹介します。

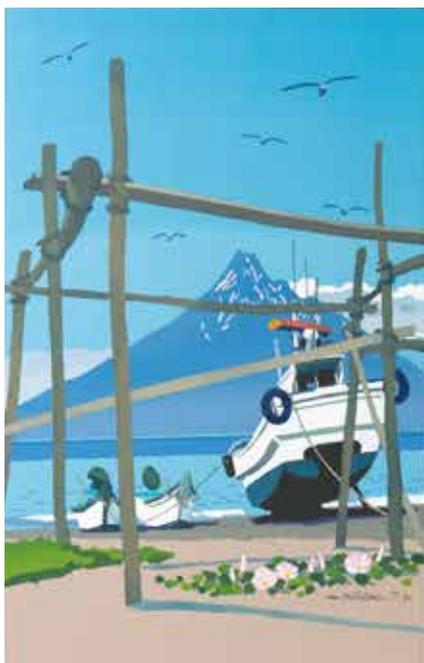
藤倉は60年代後半から、イラストレーターとしてクライアントからの仕事を受注して、クライアントの意向に沿った仕事をしてきました。その活動の中で、藤倉は「自分にしかできない一描けない

一仕事とは何か」を自問自答します。ちょうどその頃、昔懐かしい遊びを描いた挿絵や、藤倉自らエッセイと挿絵とを担当した新聞連載を手掛けます。藤倉はその挿絵を「切り絵」で描きました。

切り絵は、藤倉の現在の作風とは異なり、描かれる対象に黒い輪郭線があるのが特徴です。藤倉はやがて北海道の風景を描くことが自分の使命ととらえ、90年代に入ると輪郭線がなく、より北海道の空気感に馴染むと考えた「はり絵」へと移行していきます。

「切り絵」作品は、現在の藤倉「はり絵」作品に至るまでの、いわば「試行錯誤」の時期に描かれました。しかし、作品の完成度は高く、何かとても懐かしく温かい気持ちを抱かせてくれます。

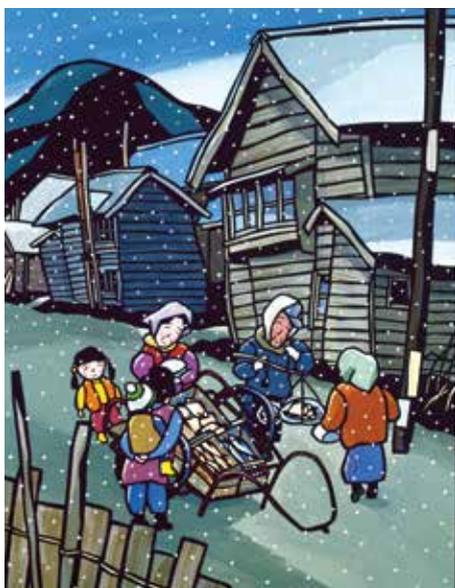
ニセコの春から夏はとても過ごしやすい季節です。そんな山に囲まれたニセコで、離島に渡った気分になるのも、またオツなものではないでしょうか。



藤倉英幸《波の音》はり絵 2000年 当館蔵



藤倉英幸《天売の漁港II》はり絵 2023年 当館蔵



藤倉英幸《魚売り》切り絵 1983年 当館蔵

## 80年代きり絵作品集①



藤倉英幸《夕なぎ》切り絵 1986年 当館蔵



### 藤倉 英幸

Hideyuki Fujikura

1948年、北海道後志（しりべし）・島野村（現・岩内町）生まれ。現在、札幌市在住。高校卒業後、製菓会社などに勤務しながら、イラストレーション、グラフィックデザインを独修。74年、「イラスト&デザイン工房フジクラ」を創立。ポスター、パッケージ、書籍装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半から「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとしている。その作品は、JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙絵をはじめ、菓子や牛乳パッケージなどで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』（2013年、共同文化社）など画集多数。17年、はり絵原画やポスターなどの印刷物約1万点をニセコ・有島記念館に寄贈。夏と冬に同館定期展覧会を開催。

1948年、北海道後志（しりべし）・島野村（現・岩内町）生まれ。現在、札幌市在住。高校卒業後、製菓会社などに勤務しながら、イラストレーション、グラフィックデザインを独修。74年、「イラスト&デザイン工房フジクラ」を創立。ポスター、パッケージ、書籍装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半から「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとしている。その作品は、JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」の表紙絵をはじめ、菓子や牛乳パッケージなどで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』（2013年、共同文化社）など画集多数。17年、はり絵原画やポスターなどの印刷物約1万点をニセコ・有島記念館に寄贈。夏と冬に同館定期展覧会を開催。

【交通アクセス】 自家用車／札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
JR／ニセコ駅より徒歩約30分（約2.5km）、タクシー5分  
バス／道南バス「倶知安駅」発、「有島記念館前」下車、徒歩5分

【駐車場】 自家用車用約30台、大型バス用約15台完備

予告

TAKEO PAPER SHOW NISEKO  
「PACKAGING—機能と笑い」  
2024年7月13日（土）～8月18日（日）

## ニセコ・有島記念館

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島7番地 TEL.0136-44-3245

